

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生体の構造（英語で読む分子生物学：ノーベル賞受賞講演から）					学期	曜日	校時
英語名	Structural and Molecular Biology (Molecular Biology Course: from Nobel award lectures)							
担当 教員名	松山 俊文	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	木曜日	3校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>分子生物学とは、生命現象を分子の言葉で記述する学問である。ノーベル医学・生理学賞や化学賞はそこで生まれた数々の発見のうち歴史的転機となったものに与えられて来た。</p> <p>この授業ではステップバイステップで分子生物学の根本原理を解説しながら、ノーベル賞受賞の元になった論文を読み進め、分子生物学への理解を深めてもらうことを目標とする。</p> <p>また最近ではノーベル賞財団が提供するウェブサイトを受賞の様相や受賞講演が公開されるようになってきた。この受賞講演のビデオを用いながら講演内容の解説を行い、実際の科学英語に直に触れてそれを理解する喜びを知ってもらおうと考えている。</p> <p>もう一つのねらいは受験英語からの脱却である。自習課題の英文和訳の作成を通して、日本語として通じ難い逐語訳ではなく、自らのもつ日本語にあてはめていく能力の開発である。</p>								
テキスト、教材等								
<p>教科書は用いず、授業計画に沿ったプリント資料を配付する。英和辞典等（電子辞書可）の持参は必要である。</p> <p>参考 http://nobelprize.org/</p>								
対象学生	成績評価の方法				教員研究室			
全学部 ただし、中学で習う生物程度の知識を有すること。	授業への参加状況、及び毎回の授業終了後に授業範囲から出題する英文和訳小テストの評価。							
授業計画								
<p>第1回 オリエンテーション、</p> <p>第2回 基礎的背景、受賞講演</p> <p>第3回 論文概説</p> <p>第4回 論文概説</p> <p>第5回 論文の輪読</p> <p>第6回 論文の輪読</p> <p>第7回 基礎的背景、受賞講演</p> <p>第8回 論文概説</p> <p>第9回 論文の輪読</p> <p>第10回 論文の輪読</p> <p>第11回 基礎的背景、受賞講演</p> <p>第12回 論文概説</p> <p>第13回 論文の輪読</p> <p>第14回 論文の輪読</p>								
<p>オフィスアワー（質問受付時間）</p> <p>24時間いつでも可。以下のアドレスにメールにて行うこと。 tosim@net.nagasaki-u.ac.jp</p>								